

一般港湾運送業における墜落・転落災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
4	10～11	コンテナ内の異常有無確認のため、オンシャーシのコンテナに足場確保をせずに直接コンテナ後方からよじ登ろうとしたため、体勢を崩して後方に転倒し、手をついた。原因は、昇降台の使用などの足場確保をしなかったこと、降雨の影響で足元が滑りやすかったことにある。	47	1～9
4	11～12	資材センター内ホーム前でテスト運転していた際、冷凍コンテナの電源を抜くためトラックのあおりに足を掛けて荷台に上がり、手すりを掴もうとした時に掴みきれず倒れ、体の右側面から地面に落ち、右肘腰顔面を強打して5分程度意識が薄れた。右肘に痛みがあり、その後、結果右肘頭の骨折が判明した。	46	100～299
6	16～17	センターにて、作業を終えEV横階段を下りようと、一步目の左足を階段に着床し、二歩目の右足を階段に着床させようとしたところ、目測を誤り階段を踏み外し、転落した。胸と右ひざを強打したが、その日はそのまま帰宅するも痛みがあり、右膝が腫れてきた。	63	10～29
9	7～8	バースで棒鋼のトラッククレーンで荷役作業を行っていた。横持トレーラー荷台上でトラッククレーン補助作業中、船内から水切りされた棒鋼の位置を荷台の外側から中心部へ再移動しようと荷台上で体を外側へ移動させた際、左足を荷台から踏み外しコンクリート舗装面へ落下した。	53	50～99
12	18～19	マイナス6m岸壁に接岸した船内で、4m杉丸太の積付作業中に、丸太に雪が少し残っていて、その上で足をすべらせ3列目と4列目に段差が約1mあり、4列目に転落し、その際に丸太に右肩と右脇腹を強打した。	69	10～29
		岸壁に横付けされたボックスバージ内にある、木箱2ケースの水切り作業の準備を		

12	13~14	<p>行うため、作業員3名がボックスバージ内に下りた。玉掛け作業をしようと木箱（L917×W367×H355）の天井に上るため、梯子を木箱にかけ、先に作業員1名が上り、続く2人目（被災者）が約250cm上ったところで梯子が傾き、バランスを崩し、転落して負傷した（左側頭部出血、左手首骨折）。なお、作業員はヘルメットを着用していた。</p>	10 ~ 29
----	-------	---	---------------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html